

笹邊啓一氏文書概要

- 1: 文書群番号 097102
- 2: 文書群名 笹邊啓一氏文書
- 3: 出所 笹邊啓一家
- 4: 家業・役職等 近世：口入れ屋／尼崎東西手伝仲間肝煎
近代：未詳
- 5: 地名 摂津国川辺郡尼崎築地町／兵庫県川辺郡尼崎町／内尼崎町／尼崎市築地中通
- 6: 行政区分 尼崎藩領／兵庫県第9区／尼崎町戸長役場／尼崎町／尼崎市
- 7: 歴史 笹邊家は、近世には築地町で口入れ屋を営んでおり、尼崎東西手伝仲間の活動にも肝煎として深く関わった。屋号は新田屋・大根屋。築地町は尼崎城下八町のひとつ。新城建築のため分断された中国街道を迂回させるために建設された町場であり、寛文5年(1665)にほぼ完成した。当町の北の浜筋には材木屋、南の大浜筋には漁師町と網干場があったという。
- 8: 伝来 笹邊氏宅は阪神・淡路大震災で被災した。家屋解体という事情もあって平成9年(1997)9～10月に笹邊氏より借用、同13年9月に寄贈を受けた。
- 9: 史料入手先 笹邊啓一氏 (原蔵者)
- 10: 点数 125点 (目録件数123件)
- 11: 年代 文政8年(1825)～昭和11年(1936)
- 12: 構造と内容 当文書群は主に、笹邊氏の家業であった①口入れ屋関係の文書と、②家の帳簿類、③書籍からなる。①では特に、近世尼崎の諸普請で手伝い(日雇人足)を統率した尼崎東西手伝仲間関係のものが多く、普請・人足雇い等の帳簿類、訴状(文政8本興寺本堂再建工事で大坂からの人足雇入れ差し止めを要求した一件など)・仲間の規則定などがある。②は金銭出入り帳、③は教科書が主である。
- 13: 関連史料 -
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 松迫寿代